

様式第 8

平成23年度循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
桑員	桑名市、いなべ市、木曽岬町、東員町、桑名広域清掃事業組合	H18～H22	H18～H22

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指 標	現状（割合※１） （平成16年度）	目標（割合※１） （平成23年度） A	実績（割合※１） （平成23年度） B	実績B /目標A	
排出量	事業系 総排出量	19,039 t	19,016t (-0.1%)	17,405t (-8.6%)	91.5 %
	1事業所当たりの排出量	1.4 t	1.4t (0%)	0.79t (-43.6%)	56.4 %
	家庭系 総排出量	59,131 t	60,467t (2.3%)	53,900t (-8.8%)	89.1 %
	1人当たりの排出量	181kg	167kg/人 (-7.7%)	109kg/人 (-39.8%)	65.3 %
	合 計 事業系家庭系排出量の合計	78,170 t	79,483t (1.7%)	71,305t (-8.8%)	89.7 %
再生利用量	直接資源化量	13,066t (16.7%)	14,714t (18.5%)	9,173t (12.9%)	62.3 %
	総資源化量	29,589t (37.9%)	33,508t (42.2%)	41,226t (57.8%)	123.0 %
熱回収量	熱回収量（年間の発電電力量）	—	—	—	—
減量化量	中間処理による減量化量	39,181t (50.1%)	39,852t (50.1%)	26,514t (37.0%)	66.5 %
最終処分量	埋立最終処分量	12,035t (15.4%)	8,846t (11.1%)	4,593t (6.4%)	51.9 %

※1 排出量は現状に対する割合、その他の指標は排出量に対する割合

(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成16年度)	目 標 (平成23年度) A	実 績 (平成23年度) B	実績B /目標A
総人口				—
公共下水道	汚水衛生処理人口			%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口			%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口			%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	%
未処理人口	汚水衛生未処理人口			%

2 各施策の実施状況

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、再使用の推進に関するもの	11	有料化	桑名市、いなべ市、木曽岬町、東員町	有料化に向けて検討していきます。	H18～H22 (H18～H22)	【桑名市】合併前の旧市町の粗大ごみ料金を見直し平成21年に料金改定を行った。 【いなべ市】指定袋の値上げを検討したが、近隣市町の状況を踏まえ、現状維持とした。 【木曽岬町】ごみ処理費用の増大に伴い、ごみ袋や粗大ごみシールの値上げについて町のごみリサイクル等推進協議会で検討中。 【東員町】引き続き調査・検討を行う。 【桑名広域清掃事業組合】平成20年4月から廃棄物処理手数料を150円/kg（但し100kg以下まで1,500円）から200円/kg（但し100kg以下まで2,000円）に改定した。
	12	環境教育等の開催	桑名市、いなべ市、木曽岬町、東員町	住民に対し、ごみの分別や再資源化の大切さを普及啓発する。	H18～H22 (H18～H22)	【桑名市】定期的に研修会や外国人向けのごみの出し方の説明会を開催し、ごみ減量と再資源化を図った。 【いなべ市】広報誌に啓発記事を掲載すると共に、自治会説明会及び小学校の環境学習会を開催し、ごみ減量と再資源化を図った。 【木曽岬町】広報誌で定期的にごみの分別についての啓発記事を掲載した。 【東員町】広報誌やイベント等で啓発を実施。また、環境こども特別教室を実施した。
	13	コンポスト等の普及	桑名市、いなべ市、木曽岬町、東員町	容易にごみを減量できる有効な手段であるコンポスト等の助成を推進する。	H18～H22 (H18～H22)	【桑名市】コンポスト・生ごみ発酵用密閉容器・生ごみ処理機を651世帯（事業実施期間中）に補助し、普及啓発を図った。 【いなべ市】事業実施期間中にコンポスト134世帯、生ごみ処理機を385世帯に補助し、普及啓発を図った。 【木曽岬町】生ごみ処理機に対して20,000円/台、コンポストに対して4,000円/基（上限2基）を交付。制度の利用促進のため広報誌にて周知した。（H18～H22補助実績：生ごみ処理機23件×20,000円=460,000円、コンポスト 5件で13,460円） 【東員町】事業実施期間中に、コンポスト1,004件、生ごみ処理機719件を補助した。

処理施設の整備に関するもの	1	リサイクル関連整備	桑名広域清掃事業組合	マテリアルリサイクル推進施設建設	H18～H20 (H18～H21)	焼却施設解体工事開始（平成18年9月） プラスチック圧縮梱包施設建設工事開始（平成19年8月） プラスチック圧縮梱包施設完成（平成21年3月）
	2	リサイクル関連整備	いなべ市	マテリアルリサイクル推進施設建設	H18～H18 (H18～H18)	プラスチック圧縮梱包施設建設工事開始（平成18年6月） プラスチック圧縮梱包施設完成（平成19年2月）
施設整備に係る計画支援に関するもの	31	1の計画支援	桑名広域清掃事業組合	ダイオキシン調査	H18～H18 (H18～H18)	平成18年9月から焼却施設解体に合わせて実施した。
		1の計画支援	桑名広域清掃事業組合	地質調査	(H19～H19)	過去の地質データを使用することで建設可能との判断により未実施。
その他	41	衣装ケース等を用いた生ごみの堆肥化の普及	桑名市、いなべ市、東員町	家庭から生ごみを一次処理したものを受け入れ、二次処理をして、出来た完熟堆肥を住民に還元します。	H18～H22 (H18～H22)	【桑名市】ごみ減量化のために、生ごみたい肥化の普及啓発を図り、参加者も順調に増え、予定していた量に達した。 【いなべ市】普及啓発のため講習会を実施した。 【東員町】広報誌、イベント等で堆肥化の啓発を行い、132世帯から一次処理したものを回収した。
	42	家電等リサイクルに関する普及啓発	桑名市、いなべ市、木曽岬町、東員町	各種リサイクル法に基づく処理の普及啓発	H18～H22 (H18～H22)	【桑名市】粗大ごみ受付時に排出方法の案内、チラシ、ゴミカレンダー等で啓発した。 【いなべ市】分別ハンドブック、広報誌等を通じて啓発した。 【木曽岬町】分別ハンドブック、広報誌等を通じて啓発活動を実施した。 【東員町】広報誌、イベント等で、啓発活動を実施した。

43	不法投棄対策	桑名市、いなべ市、 木曽岬町、東員町	分別区分の徹底とパト ロール	H18～H22 (H18～H22)	【桑名市】環境監視員（20名）による啓発、不法投棄監視カメラを導入し防止を図った。 【いなべ市】平成21年度から環境パトロールを実施した。 【木曽岬町】緊急雇用創出事業を活用した分別指導員を4名雇用し、町内集積場の巡回指導を実施した。 【東員町】啓発車両で町内の不法投棄防止対策としてパトロール及び回収を実施した。
44	災害時の廃棄物 処理体制の整備	桑名市、いなべ市、 木曽岬町、東員町	災害廃棄物処理を踏まえ た体制整備	H19～H22 (H18～H22)	【桑名市】平成21年4月桑名市災害廃棄物処理計画を策定した。 【いなべ市】平成20年3月いなべ市災害廃棄物処理計画を策定した。 【木曽岬町】平成19年8月に木曽岬町地域防災計画を全面改定し、その中で災害廃棄物の処理について規定。災害廃棄物処理計画については未策定だが、引き続き検討を行う。 【東員町】平成22年11月東員町災害廃棄物処理計画を策定した。

3 目標の達成状況に関する評価

排出量については、事業系及び家庭系の総排出量ともに平成23年度目標を10%程度上回る減量を達成する事が出来た。これについては、各構成市町（桑名市、いなべ市、木曽岬町、東員町）の積極的な発生抑制、再使用の推進等によるもので、ごみの排出量が減少したことと、総資源化量が増加したことで、最終処分量を大幅に減少させる事が出来ました。今後とも、ごみの排出量の削減及びごみの有効利用に努めてまいります。

（都道府県の知事の所見）

桑員地域における循環型社会形成推進地域計画については、「3 目標の達成状況に関する評価」のとおり減量化等が行われたところです。現在、平成24年4月1日～平成29年3月31日までを計画期間とする第2期計画が策定されていることから、本計画に基づいた施策を着実に推進し、循環型社会を形成することが望まれます。